

公募研究 A03 (課題番号: 08205202・09202202)

島津家本『琉球外国関係文書』の分析とそのハイパーテキスト化の研究

研究代表者: 横山伊徳・東京大学史料編纂所・助教授

1. 研究項目: A03 琉球・沖縄の歴史的文物の情報化
2. 研究課題名: 幕末維新时期における琉球をめぐる国際情勢の研究(課題番号: 08205202・09202202)
3. 研究期間: 平成8年度(1996)・平成9年度(1997)
4. 交付研究費: 平成8年度 1,400千円
平成9年度 1,400千円 合計 2,800千円
5. 研究組織(氏名: 所属機関・部局・職)
(研究代表者) 横山 伊徳: 東京大学・史料編纂所・助教授(yokoyama@hi.u-tokyo.ac.jp)
(研究分担者) 保谷 徹: 東京大学・史料編纂所・助教授(平成9年度)
(研究分担者) 松本 良太: 東京大学・史料編纂所・助手
(研究分担者) 小野 将: 東京大学・史料編纂所・助手(平成8年度)

6. 研究目的および研究計画の概要

(1) 経緯

研究代表者横山は、1994年度科学研究費『欧米外交文書による対琉球条約の分析』(重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」公募研究)および95年度科学研究費『幕末維新时期における琉球をめぐる国際情勢の研究』(同上)により、主として欧米史料から幕末維新时期の琉球の国際関係を研究してきた。この結果、琉球の領有に関して、江戸幕府が対外的に「琉球は外国」という態度をとる段階から、対外的にも「琉球は属領」という態度をとる段階へと変化する時期が幕末の対外関係の緊張期に存在することが明らかとなった。

したがって、次の研究としては、この変化が幕府内部における、あるいは幕府と薩摩藩の間におけるどのような認識・論議の変化に基づいてもたらされたものかを研究する必要がある。このためにもっともふさわしい史料の一つが、島津家本『琉球外国関係文書』(全51冊)である。この島津家本『琉球外国関係文書』は、戦前島津家が国事鞅掌史料を編纂する過程で副産物として編纂された、琉球に來航した外国船や、琉球をめぐる諸外国との交渉、あるいはそれらについての幕府や薩摩藩の論議に関する史料集である。収録年代は、天保期から文久期までで、上に述べた幕府の琉球領有観の変化の

時期に当たる。また、収録対象は単に島津家に残された史料にとどまらず、幕閣・水戸家の史料など、戦前利用可能であった中枢史料も含まれており、多方面にわたる史料収集の産物であることもはっきりしている。これらから、島津家本『琉球外国関係文書』を分析し、その上にたってこれを全文データベース化することができれば、幕末期の琉球をめぐる国際関係に関する国内史料の基本的データベースとすることができると考えられるのである。

(2) 研究計画の概要

島津家本『琉球外国関係文書』(全51冊)を全文入力する。

入力・校正が完了した時点で史料編纂所の anonymous FTP server にアップロードし、いわゆるプレーンテキストの形で学界に公開する。

『琉球外国関係文書』中の史料一点毎に、文書名、年代、作成、などのデータを蓄積したデータベースを作る。

(で作成したデータベースと全文テキストをハイパーテキストを使って結合し、史料編纂所の WWWserver に載せ、学界に公開する。

7. 研究経過および研究成果

史料編纂所が所蔵する島津家本『琉球外国関係文書』をハイパーテキスト化する作業を行なった。

(1) 『琉球外国関係文書』(全51冊)を全文入力した。このうち、巻之三十五まで校正完了。巻之三十六以降は、現在作業が進行中である。

(2) 『琉球外国関係文書』の内、巻之二十四まで、ftp://shipsnw.hi.u-tokyo.ac.jp/ryukyu/*.txt その校正済みプレーンテキストを公開した。

(3) 史料編纂所WWWサーバ <http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/personal/yokoyama/index.htm> によって、巻之三十五迄の冊別目録・編年目録による閲覧が実現している。この種の、編年体全文史料を閲覧するためのインターフェイスについても工夫を凝らした。

8. 情報化の概要

この結果、琉球の領有に関して、江戸幕府が対外的に「琉球は外国」という態度から、対外的にも「琉球は属領」という態度へと変化するその変化が、幕府内部や幕府と薩摩藩の間でのどのような認識・論議の変化に基づいたものかを研究するための、基礎的データを Internet によって提供できるようになった。すなわち、琉球に来航した外国船や、琉球をめぐる諸外国との交渉、あるいは幕府や薩摩藩の論議に関する史料を、ネットワーク上で分析できるようになったのである。これらは、漢文史料まで含めた、WWW 上の本格的全文資料集として、注目を集めている。

なお、研究成果 CD-ROM に収められたデータは、<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/personal/yokoyama/> に収められた html ファイルと同じものである(97年12月13日現在)フォルダ名 homepage¥index.htm を適当な閲覧ソフト(Netscape ver.3.0で動作確認済)によって開けば、本研究によって得られた全ファイルを閲覧することができる。